

TM通信 学ぶ喜び VOL.3

ー仲間とともにつながる学校へー

研究主題に基づき、授業改善に向けた
具体的方策

- ① 授業のめあてをしめす（設定のしかた・魅力ある課題の工夫）
- ② ペア・グループなど、話し合いの場面を設定する（協働的・多面的に学ぶ）
- ③ 既習事項、他教科や日常生活との結びつきを意識できるよう働きかける。
（深い学びへ）

研究主題の達成に向け、各部会でお話しいただいたものを研究部で整理し、
上記3つの方策にまとめました。授業づくりの参考にいただければと思います。

2025年度
研究座談会・授業研究会の予定

右は今年度の授業研究の流れです。
子どもたちの学ぶ姿を真ん中にして、
私たち教員が対話を重ねることで、
課題を発見・共有し、日々の授業づくり、
生徒個々の支援につなげられることが理想です。
生徒の発言やふりかえりの内容、
ふとしたしくさなどを丁寧に見とることで、
課題が見えてきます。
また、豊かに学ぶことができている瞬間が
どういったときに起こりやすいのかを
観察・共有することで、授業の中に
そういった場面をふやせば、
学ぶ喜びにつながることも
考えられます。



More Information

PBS関連

<https://pbs.japan.com/>



主体的対話的で深い学び



大阪の授業STANDARD



✓ モデル授業
（2年生英語科）

5/12 5/23
月 金

本田先生の授業を見学させていただき、生徒の実態と課題、
授業づくりについて交流します。
左の3つの方策や学級づくり、PBSによる関わり考えます。
後の研座（6/10）でこの授業をもとに話します。

6/20
金

✓ 校内研究授業
（3年生）

具体的方策に基づいて研究授業を行います。
また、中京大学の泰山裕教授に「新しい学び」について
お話いただきます。令和の日本型教育でもとめられている事柄に
ついて確認し、日々の授業に取り入れられるもののヒントを
探します。

9/3
水

✓ 校内研究授業
（1年生 or 2年生）

泰山先生にお越しいただき、6月のお話をふまえて取り組む様子を見
ていただきます。また、指導と評価の一体化を具現すること、
生徒の学びに向かう姿勢や人間性をどのように見とり、
評価するのかについて、ご講演いただきます。
評価のための評価ではない、形成的な評価について考えます。

12/10
水

✓ 道徳科 校内研究授業
1年生 or 2年生

昨年度に引き続き、四天王寺大学の杉中康平先生にお越しい
ただきます。生徒が考え、議論する授業を創るための教員の
働きかけに重点をおきます。

2/2
月

✓ 公開授業研究会
全クラス授業公開
代表授業（1年生or2年生）
授業検討会・講演会

これまでの研究のまとめとしての会です。
3時間めまでで給食、終礼、4時間めが全クラス公開、
5時間めに代表授業、授業検討会、泰山先生のご講演の予定です。
また、これらをすべてふりかえり、

来年度以降への研究につなげていきます。

